

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-215939

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月18日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

A 4 5 C 13/26

識別記号

F I

A 4 5 C 13/26

T

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-53756

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月3日

(71) 出願人 597032538

出浦 浩一

東京都新宿区西早稲田1-9-23-1417

(72) 発明者 出浦 浩一

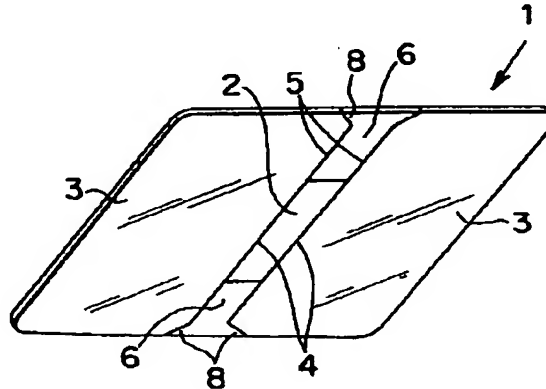
東京都新宿区西早稲田1-9-23-1417

(54) 【発明の名称】 手提げ袋用ホルダー

(57) 【要約】

【目的】 手提げ袋の紐状の把手に着脱自在に装着されて、持ち運びの際把手に直接負荷される荷物の重量による手のひらの痛みを和らげて手提げ袋を運び易くするとともに構造が簡単で安価に製造することができる手提げ袋用ホルダーを提供する。

【構成】 手提げ袋用ホルダー1は、再生紙のような屈曲可能な矩形状の板状体の中央を手提げ袋10の紐状の把手11に着脱自在に掛止する保持部2とし、この保持部2の両側には、相対向するように断面略U字状に折曲げられて手のひらに支えられる把持部3、3が形成されている。この略平板状の手提げ袋用ホルダー1は、2つの把持部3、3を略直角状に折曲げ断面略U字状に形成して、保持部2に紐状の把手11を掛止して装着されるものである。保持部2はその両端に形成される補強片6、6を相互に折返して補強されるとともに、この補強片6、6の折り返しによって形成される凹所を紐状の把手11の案内部7、7とするものである。



paper/plastic

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 屈曲可能な板状体の中央を手提げ袋の紐状の把手に掛止する保持部とし、この保持部の両側に相対向するように断面略U字状に折曲される2つの把持部を形成してなる手提げ袋用ホルダー。

【請求項2】 保持部の両端に折返し可能な補強片を接続し、この補強片を内側に折返して保持部の上面に重ね合わせるとともに補強片の折返しにより形成される凹所を手提げ袋の紐状把手の案内部とする請求項1記載の手提げ袋用ホルダー。

【請求項3】 保持部に形成される折返し可能な補強片の先端両側に突縁を設け、補強片の折返しにより形成される案内部の開口端を拡開してなる請求項1ないし2記載の手提げ袋用ホルダー。

【請求項4】 屈曲可能な板状体を矩形状の板紙からなる請求項1ないし3記載の手提げ袋用ホルダー。

【請求項5】 把持部の先端側に止着部を形成して、2つの把持部を着脱自在に係止してなる請求項1ないし4記載の手提げ袋用ホルダー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、合成樹脂や紙から製せられる手提げ袋の上方に設けられる紐状把手に着脱可能に装着して荷物の重量による負担を軽減する手提げ袋用ホルダーに関する。

## 【0002】

【従来の技術】スーパーマーケットやコンビニエンスストアでは購入した品物を持ち帰る際、薄いポリエチレン製の手提げ袋、すなわちポリ袋と称せられる袋が用いられている。また、一般の店舗でもポリ袋とともに紙袋が多く使用されている。これらの手提げ袋の把手としては、袋本体部と一体的に成形された細い紐状帯や紙、繊維等の細い紐が取り付けられていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来ポリ袋や紙袋を使用するときは、その把手を直接手で握っていたため、袋本体部に収納される荷物の重量が大きい場合には紐状の把手が手のひらに食い込んで痛みが生じて長時間にわたる持ち運びが苦痛となり、とくに年少者や高齢者にとっては負担であり、持ち運びの負担を考慮して買物を控えたり、また、別途専用のバック等を持参しなければならないという煩わしさがあつた。反面、これらの手提げ袋は再利用されることがあまりなく、しかも、販売する側のサービスとして行われているためできるだけコストを軽減することが要求され、手提げ袋、とくにその把手の安全性や持ち運びの容易性までは考慮されていなかった。

【0004】この発明は、上記事情に鑑みてなされたものであって、手提げ袋の把手に着脱可能に装着されて荷物の重量による苦痛の負担を軽減し、また、保管や所持

が簡単に行われて必要に応じて手軽に装着され、その繰返しの使用が可能とされとともに手提げ袋と分離したホルダー単体を安価に製して手提げ袋自体のコストアップを抑えることができる手提げ袋用ホルダーを提供することを目的とするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1記載の手提げ袋用ホルダーは、屈曲可能な板状体の中央を手提げ袋の紐状の把手に掛止される保持部とし、この保持部の両側に相対向するように断面略U字状に折曲される2つの把持部を形成してなることを特徴としている。

【0006】請求項2記載の手提げ袋用ホルダーは、保持部の両端に折返し可能な補強片を接続し、この補強片を内側に折返して保持部の上面に重ね合わせるとともに補強片の折返しにより形成される凹所を手提げ袋の紐状把手の案内部とすることを特徴としている。

【0007】請求項3記載の手提げ袋用ホルダーは、保持部に形成される折返し可能な補強片の先端両側に突縁を設け、補強片の折返しにより形成される案内部の開口端を拡開してなることを特徴としている。

【0008】請求項4記載の手提げ袋用ホルダーは、屈曲可能な板状体を矩形状の板紙からなることを特徴としている。

【0009】請求項5記載の手提げ袋用ホルダーは、把持部の先端側に止着部を形成して、2つの把持部を着脱自在に係止してなることを特徴としている。

## 【0010】

【作用】上記のように構成されるこの発明の請求項1に記載の手提げ袋用ホルダーによれば、屈曲可能な板状体の中央に設けられた保持部とその両側に接続される2つの把持部からなり、両側の把持部を略直角状に折曲げて断面略U字状に形成して使用するもので、保持部の上面に手提げ袋の把手を掛止するとともに2つの把持部で支えて把手が直接手に当たることがなく手のひらを保護した状態で荷物を入れた手提げ袋が持ち運びされる。

【0011】さらに、矩形状の板状体の中央に形成する保持部の両端に接続する折曲可能な把持部を形成するもので、付属部品や2次加工が不要であり、きわめて簡単に製造される。また、全体が平面状に形成され印刷や着色が容易であり、広告媒体としての利用価値が高い。

【0012】さらに、板状体が屈曲可能な材料、例えば板紙を用いて製せられているため、成形とくにその板紙からの打抜き工程が簡単に行われるとともに保持部が手提げ袋に収納された荷物の重量に容易に追随し、また、把持部は持ち上げた際手のひらにフィットされ手に苦痛を与えることなく使用に供される。

【0013】さらに、使用するとき以外は平板状に形成されており、複数枚のときは重ね合わせた状態で店頭等に置いたり、また、個人的に所有する場合には1、2枚を

財布や手帳等の身の回りのものに保持した状態で所持され、手軽に持ち運びでき、その都度必要なときに取り出して使用される。

【0014】請求項2に記載の手提げ袋用ホルダーによれば、保持部の両端に折り返し可能な補強片を形成して保持部側に折返して重ね合わせることで保持部が補強されるとともにこれを折返すことにより形成される凹所を案内部として把手への装着を容易に行い、かつ、装着して持ち運ぶの際に手提げ袋の把手が外れたり、ずれたりする恐れがなく把手を密着した状態で掛止される。

【0015】請求項3に記載の手提げ袋用ホルダーによれば、補強片はその先端両側に突縁が形成されているため、補強片を保持部側に折り返すことにより形成される案内部の開口端縁が拡開されることにより、手提げ袋の把手を装着するとき容易にガイドされる。

【0016】請求項4に記載の手提げ袋用ホルダーによれば、屈曲可能な板状体を矩形の板紙から形成することにより、例えば、再生紙の利用が可能となり材料費を軽減してホルダーを安価に製するとともに全体を矩形にすることにより板紙を打抜成形するときの材料の無駄を省き、大がかりな設備が不要でコストが大幅に削減され、また、表面への印刷や着色が容易に行われる。

【0017】請求項5に記載の手提げ袋用ホルダーによれば、把持部の先端に止着部を形成して2つの把持部を着脱自在に係止することにより、手提げ袋の把手への装着後持ち運びの途中でホルダーが落下したり、外れたりすることを防止する。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施形態について添付図面に基いて説明する。図1は、この発明の手提げ袋用ホルダーを示す斜視図、図2は使用する状態を示す一部を切欠いた斜視図、図3は手提げ袋への取付け状態を示す斜視図である。

【0019】本発明に係る手提げ袋用ホルダー1は、例えば、再生紙の如き板紙からなる矩形の板状体を用いて、その中央部分に手提げ袋10に設けられた帯状の把手11を着脱可能に装着する適宜幅を有した保持部2を形成し、この保持部2の両側一体に接続された略直角状に折曲されて手のひらに支えられる2つの把持部3、3が同一平面状に設けられている。

【0020】この略平板状に形成される手提げ袋用ホルダー1は、保持部2と把持部3との境界部分に設けられるガイド線4、4を中心として2つの把持部3、3を相対向する方向、すなわち内側方向に断面略U字状に折曲げて把手11に装着される。

【0021】保持部2は、その両端側のガイド線4、4に切込み5、5を入れて内側に折返し可能な補強片6、6を形成している。この補強片6、6は、装着するとき相互に内側に折返して保持部2に重ね合わせて紐状の把手

11に掛止される保持部2を補強して荷物の荷重による破損等を防止している。

【0022】また、この補強片6、6を折り返して形成される凹所を案内部7、7とすることによって、把手11が容易に装着されるように案内するとともに装着後把手11が脱抜したり、左右へずれることが防止されている。さらに、この補強片6、6の先端縁の両側には先端状突縁8、8が形成され、この突縁7、7を有する補強片6、6を折り返して形成される案内部7、7の開口端縁が拡開されるため、把手11への装着が一層簡単に行われる。

【0023】平板状に形成されている手提げ袋用ホルダー1は、手提げ袋10に荷物を収納した後、平板状のまま装着し、保持部2、2を中心にしてその両側の把持部3、3を対向するように略直角状に折曲げて略U字状に形成して、手提げ袋10の帯状把手11を保持部2に掛止して把持部3、3を手のひらに包むようにして支えて持ち運びに供される。なお、このホルダー1を予め略U字状に折曲げてから手提げ袋10の帯状把手11に装着してもよい。この手提げ袋用ホルダー1は使用後、把手11から抜き取り把持部3、3を再度平板状に復元することにより繰り返し使用が可能となる。

【0024】この手提げ袋用ホルダー1について、板紙からなる板状体を用いることで説明したが、これに限らず合成樹脂材、合成樹脂の発泡材およびゴム材等の板状体を用いることが可能であり、また、板状体は矩形とする以外略円形状として把持部3を円弧状に形成するものでもよい。

【0025】また、この2つの把持部3、3は、その先端側に連結部9を設けて、把手11に装着された2つの把持部3、3を結合して開口端を閉塞することにより把手11からの脱落を防止するもので、その一例として、図4に示すように、一方の把持部3に突条9aを、他方の把持部3を嵌合溝9bを形成して、一方の突条9aを他方の嵌合溝9bに弾発的に嵌合するもの等が用いられる。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように、この発明の手提げ袋用ホルダーによれば、紐状の把手に加わる手提げ袋の荷重を保持部で受止して直接手のひらで握むことができなく手提げ袋の持ち運びにおける手の痛みを和らげることができる。また、この手提げ袋用ホルダーは、平板状に形成されて保管や所持が容易であると同時に、その使用に際しては把持部を折曲げて略U字状として手提げ袋の紐状の把手に装着すればよく、非常に簡単な操作で使用するができる。使用後は折曲げた把持部を保持部と同一平面状に復元することにより繰り返し使用が可能である。さらに、板状体を矩形に打抜いて製するため材料の無駄がなく、しかも、再生紙等の材料が利用され材料費を軽減するばかりでなく、構造がきわめて簡単でそ

paper Board  
plastics

の加工工程が少なく、手提げ袋用ホルダーを安価に製造することができる。

【0027】

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の手提げ袋用ホルダーを示す斜視図である。

【図2】手提げ袋用ホルダーを使用する形態を示す一部を切欠した斜視図である。

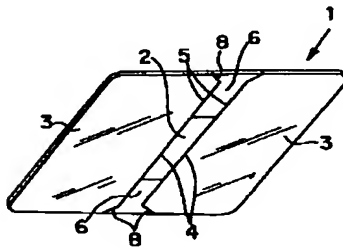
【図3】手提げ袋用ホルダーの手提げ袋への装着状態を示す斜視図である。

【図4】この発明の手提げ袋用ホルダーの折曲状態を示す斜視図である。

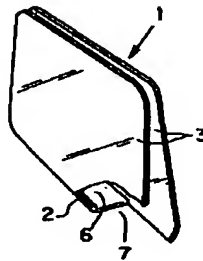
【符号の説明】

- 1 手提げ袋用ホルダー
- 2 保持部
- 3 把持部
- 4 ガイド線
- 5 切込み
- 6 補強片
- 7 案内部
- 8 突縁
- 9 連結部
- 10 手提げ袋
- 11 紐状把手

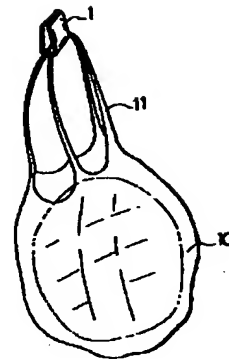
【図1】



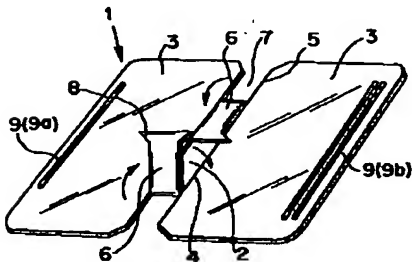
【図2】



【図3】



【図4】



DERWENT-ACC-NO: 1998-499120

DERWENT-WEEK: 199843

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Detachable holder installed to string-shaped handle of  
e.g. handbag, plastic bag, paper bag - has holding piece  
which is latched at centre of string shaped handle of  
e.g. handbag, in which gripping pieces are bent to  
U=shape cross=section

PATENT-ASSIGNEE: IDEURA K[IDEUI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0053756 (February 3, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 10215939 A	August 18, 1998	N/A	004	A45C 013/26

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 10215939A	N/A	1997JP-0053756	February 3, 1997

INT-CL (IPC): A45C013/26

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10215939A

BASIC-ABSTRACT:

The holder (1) includes a detachable holding piece (2) extended between adjacent sides of two gripping pieces (3). The gripping pieces are bendable along the edges of the holding piece to form a U-shaped cross-section.

Reinforcing pieces (8) are concatenated at both ends of the holding piece. The holding piece is latched at the centre of a string-shaped handle that is provided to a e.g. handbag, plastic bag, paper bag.

ADVANTAGE - Relieves e.g. strain in hand caused by weight of e.g. luggage. Can be manufactured easily at low cost since number of materials are reduced.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: DETACH HOLD INSTALLATION STRING SHAPE HANDLE HANDBAG PLASTIC BAG  
PAPER BAG HOLD PIECE LATCH CENTRE STRING SHAPE HANDLE HANDBAG GRIP  
PIECE BEND U=SHAPED CROSS=SECTION

DERWENT-CLASS: P24

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-389939